

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部
	17100	シティプロモーション推進事業	課名	政策課 広報秘書G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務科目	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	款	02:総務費
	施策の方向	04:移住交流の促進	項	01:総務管理費
	戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト	目	02:広報活動費
事業予定期間		H 29 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	

目的・概要	対象	市民及び市外の人
	目的	本市が、「暮らしたいまち(定住・移住人口の増加)」、「訪れたいまち(交流人口の増加)」として選ばれるため、市民等のまちに対する愛着や誇りの醸成を基礎として、本市の魅力を発掘・磨き上げ、効果的な情報発信を行うことで、まちのイメージを向上させる。
概要	概要	市シティプロモーション戦略で設定したキャッチコピー「住めば、ゆうゆう。」やロゴマークを使用し、様々な広報媒体を効果的に活用、連動させた情報発信を行う。平成28年度に構築したシティプロモーション専用サイトの各種コンテンツ(イベント・ニュース情報、ライフスタイルインタビュー、フリップサポーター等)の更新・充実を図る。

		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		年度計画		年度実績		事業の計画・実績	
事業の計画・実績	年度計画	- 様々な広報媒体を活用した情報発信・キャッチコピー「住めば、ゆうゆう。」の啓発 - シティプロモーション専用サイトの管理・コンテンツの更新 - シティプロモーション戦略の検証、見直し - 有識者会議の開催 - 市民座談会の開催 - シティプロモーション動画の制作 - 職員研修の実施		- 様々な広報媒体を活用した情報発信・キャッチコピー「住めば、ゆうゆう。」の啓発 - シティプロモーション専用サイトの管理・コンテンツの更新 - シティプロモーション動画の制作 - 職員研修の実施		- 様々な広報媒体を活用した情報発信・キャッチコピー「住めば、ゆうゆう。」の啓発 - シティプロモーション専用サイトの管理・コンテンツの更新 - シティプロモーション動画の制作 - 職員研修の実施	
		○シティプロモーション専用サイトの管理 - イベント情報:698件、ニュース情報:143件 - フリップサポーター:16組追加(延べ55組) ○シティプロモーション戦略の検証 - かめやま若者未来会議での意見聴取 - 総括評価と今後の方向性の決定 ○シティプロモーションブランドの啓発 - 動画制作:1回「関宿と関の山車」 ○職員研修の実施:2回		○シティプロモーション専用サイトの管理 - イベント情報:619件、ニュース情報:186件 - ライフスタイルインタビュー:2件追加(延べ11件) - フリップサポーター:5組追加(延べ60組) ○シティプロモーション活動の展開 - 津駅前でのPR(7~8月) - 動画制作(1本:プロモーション映像) ○職員研修の実施:2回			
	計画額	事業費	2,900千円		2,600千円		2,600千円
		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
	予算額	一般財源	2,900千円		2,600千円		2,600千円
		事業費	2,857千円		2,860千円		
		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
	決算額	その他					
		一般財源	2,857千円		2,860千円		0千円
		事業費	2,321千円		2,625千円		
		国庫支出金					
		県支出金					
	人件費	地方債					
		その他					
		一般財源	2,321千円		2,625千円		0千円
		総人件費	3,925千円		3,920千円		0千円
		一般職員	3,925千円		3,920千円		0千円
	総コスト(+)	所要人員	0.50		0.50		
		会計年度任用職員等	0千円		0千円		0千円
		総コスト(+)	6,246千円		6,545千円		0千円
	受益者負担率		0.0%		0.0%		0.0%

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	シティプロモーション専用サイトコンテンツ更新件数	計画値	55080	57085
		イベント情報(上段)、ニュース情報(下段)の掲載件数(年間延べ件数)	実績値	698件/143件	619件/186件
			単位	件	件
	名称	シティプロモーション専用サイトへの訪問回数	計画値	100,000	100,000
		「住めば、ゆうゆう。」専用サイト全体へのアクセス回数(年間延べ回数)	実績値	78,613	99,895
			単位	回	回
	名称	職員研修の開催回数	計画値	2	2
		新規採用職員向け研修および一般職員向け研修の開催回数(年間延べ回数)	実績値	2	2
			単位	回	回

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 専用サイトの利用促進を図るため、イベント情報やニュース情報の定期更新を行う。特に、個性的な亀山暮らしを紹介するライフスタイルインタビューについて、取材先の選定とコンテンツの更新を行う。また、動画の制作に市民や事業所などを巻き込み、自らが魅力発信の担い手であることを意識してもえるよう取り組む。さらに、各種広報媒体を連動させ、効果的な情報発信に取り組むとともに、話題性や新鮮さを意識した報道機関への情報提供を行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 各種情報の把握に努めシティプロモーション専用サイトの定期更新を行い、サイトアクセス数の増加に取り組んだほか、昨年度実施できなかった個性的な亀山暮らしを紹介するライフスタイルインタビューを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により対人取材が困難な中、過去に撮影した映像や写真を活用して、移住フェア等で活用できる市の短編プロモーション動画を制作したほか、野村證券でのシティプロモーション活動について報道機関へも情報提供を行うなど、情報発信性の向上に努めた。

評価		(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 年間を通じた広報編集ミーティング、随時発表される新型コロナウイルス感染症関連情報の収集等を通じて、シティプロモーション専用サイトのイベントやニュース情報を更新した。子育て支援センターに訪問し、亀山の良いところを紹介する新たなフリップサポーターの参加やライフスタイルインタビューを行い、心地よい亀山暮らしを伝える記事を追加した。また、コロナ禍で取材が困難な中、これまでに撮影した映像や写真を活用して、歴史や自然など本市固有の魅力を紹介できるよう、短編プロモーション動画を制作したほか、市外でのプロモーション活動として、野村證券津支店のショールームを活用して2ヵ月間の展示を行った。一方、新採職員には座学研修を通じて、全職員向けには庁内電子掲示板を通じてシティプロモーションに関する研修動画を配信した。
	成果	【成果は順調に上がったか】 新型コロナウイルス感染症の影響により、定期更新する情報数が減る中で、中止や延期となったイベント情報のほか、感染防止対策やコロナ対策の新規事業や制度などを発信することで、目標値に近い99,895件のアクセス数を得ることができ、子育て世代を中心に多くの方に必要な情報を発信することができた。また、短編プロモーション動画を制作することで、様々な機会に市の魅力を動画発信できる映像素材を確保できたほか、日本書紀編さん1300年日本武尊・弟橘媛物語とリア中央新幹線県内停車駅誘致の取組をテーマに市外でシティプロモーション活動を行い、市の知名度向上や来訪促進に繋がった。また、職員研修により、職員一人ひとりがシティプロモーションの担い手であるという意識醸成を図った。

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 子育てサポートや自然の恵みなど良質な都市イメージを多くの人に知ってもらうため、専用サイトの利用促進をはじめ、イベントやニュース情報の定期更新や新型コロナウイルス感染症関連情報を随時掲載し情報発信を行う必要がある。共感性の高い情報発信を行うため、亀山の良さや暮らしを紹介するフリップサポーターやライフスタイルインタビュー取材を継続して行い、専用サイトの充実を図る必要がある。選ばれるまちを目指し、市のシティプロモーション戦略の見直しが必要である。
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 シティプロモーション専用サイトの周知や市公式ホームページからの閲覧導線の改善等により、専用サイトの利用促進を図るとともに、広報紙、ホームページとの情報連携等により、専用サイトの情報発信内容を充実させる。また、フリップサポーターやライフスタイルインタビューを新たに追加する。更には、これまでの取組成果や重点ターゲットの人口移動・サイトアクセス数の推移等を検証し、市のシティプロモーション戦略を見直す。
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 シティプロモーションの取組を通じて、市民自らが情報発信の担い手となり、まちへの愛着を醸成することができる。また、市の情報や魅力の人から人への伝達・拡散が期待できる。シティプロモーション戦略の見直しにより、本市の魅力発信や交流人口・関係人口の増加、移住・定住の促進を進めるため、庁内の横断的な連携や外部連携、職員の意識向上など、より効果的なシティプロモーション活動を行うための方策を整理することができる。
	対応時期	令和3年度

☐ 拡大
☒ 現状維持
☐ 縮小
☐ 廃止
☐ その他

【その他の場合、その内容を記載】

【1次評価者】	総合政策部 政策課 広報秘書グループリーダー 末崎 照美
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	A	B	B	
	成果	B	B	B	B	

■令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		2,860 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	2,860 千円
	令和3年度への繰越額	千円